



## 教員紹介

## リハビリテーション学部

## 西田 崇人 NISHIDA Takato

職位	助手
最終学歴	星城大学大学院 健康支援学研究科 修士課程
職歴	社会医療法人杏嶺会 上林記念病院 社会医療法人杏嶺会 一宮西病院 社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会リハビリテーション病院を経て現職
学位	修士（保健学）
資格（免許）、認定	理学療法士免許 / 認定理学療法士（脳卒中） / 福祉住環境コーディネーター2級 / 日本理学療法士協会指定管理者(上級)
担当科目（学部）	義肢装具学実習 / 運動器障害理学療法学実習 / 物理療法学実習 / 理学療法評価診断学実習 / 日常生活環境学
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	これまで主に回復期リハビリテーション病院にて中枢神経疾患、運動器疾患の理学療法や臨床の教育に携わってきました。 これまでの経験を活かして学生のみなさんが学ぶことの面白さを感じ、分かりやすい講義を心がけていきたいと思います。 広く社会で活躍出来る理学療法士を目指して一緒に頑張りましょう！
研究内容	1) 脳卒中患者の体幹機能に関する研究 2) 脳卒中後のうつ（PSD）に関する研究 3) 大腿骨転子部骨折後の筋力回復経過に関する研究
研究分野キーワード	脳卒中 / PSD / 大腿骨近位部骨折 / 体幹機能
URL	<a href="https://researchmap.jp/-t_nishida-">https://researchmap.jp/-t_nishida-</a>
著書	
論文	1) 西田 崇人, 回復期リハビリテーション病棟に入棟した脳卒中患者におけるうつの程度と自立歩行の獲得との関係と脳卒中うつスケールのカットオフ値について, 愛知県理学療法学会誌 35(2): 104-110, 2023. 2) 山野井 順矢, 西田 崇人, 回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者の入棟時アルブミン値と初回非麻痺側下肢筋力および歩行能力の関連性, 愛知県

	理学療法学会誌 30(1): 38-43, 2018.
学会発表	<p>1) 西田 崇人. : 脳卒中患者の自立歩行の獲得に影響を及ぼすうつ症状の検討. 第 20 回日本神経理学療法学会学術大会 (2022 年 10 月, 大阪府)</p> <p>2) 西田 崇人. : 脳卒中患者におけるうつや情動不具の程度が歩行の獲得に及ぼす影響とカットオフ値について. 第 19 回日本神経理学療法学会学術大会 (2021 年 12 月, 岩手県・オンライン開催)</p> <p>3) 西田 崇人, 平良海樹. : 大腿骨転子部骨折患者における退院時の自立歩行獲得と小転子骨片転位との関連. 第 37 回東海北陸理学療法学会学術大会 (2021 年 10 月, 静岡県・オンライン開催)</p> <p>4) 西田 崇人, 平良 海樹, 山野井 順矢, 江西 一成. : 脳卒中患者と健常者における座位動作中の体幹筋活動の特徴. 第 16 回日本神経理学療法学会学術大会 (2018 年 11 月, 大阪府)</p> <p>5) 西田 崇人, 江西 一成. : 脳卒中における体幹機能と ADL 動作との関連について~Trunk Impairment Scale による検討~. 第 14 回日本神経理学療法学会学術大会 (2016 年 11 月, 宮城県)</p> <p>6) 西田 崇人, 江西 一成. : 脳卒中における Trunk Impairment Scale と FIM との関係. 第 32 回東海北陸理学療法学会学術大会 (2016 年 10 月, 岐阜県)</p> <p>7) 西田 崇人. : 大腿骨骨折の疼痛軽減に難渋した症例について. 愛知県理学療法学会生涯学習部症例検討会 (2012 年 2 月, 愛知県)</p> <p>他 共同発表 12 件</p>
社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)	<p>【所属学会】</p> <p>1) 日本理学療法士協会</p> <p>2) 愛知県理学療法士会</p> <p>【役員その他】</p> <p>1) 一般社団法人 日本理学療法教育学会 理事</p> <p>2) 公益社団法人 愛知県理学療法士会 災害対策部 部員</p> <p>3) 公益社団法人 愛知県理学療法士会 卒前教育部 部員</p> <p>4) 一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会 愛知 JRAT 隊員</p>
その他	<p>【外部資金獲得】</p> <p>1) 2023 年度 愛知県理学療法学会研究推進助成 (代表): 大腿骨転子部骨折患者における小転子転位が股関節屈曲筋力の回復に与える影響</p>